

日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会 PRA 品質確保分科会
第 39 回会合議事録

日時：2021 年 11 月 8 日（月）10:00～12:00

場所：Cisco WebEx Meeting による Web 会議

出席者（敬称略）

委員：桐本主査（電中研）、竹次幹事（関電）、木村（日立 GE）、倉本（NEL）、
二宮（東芝 ESS）、齋藤（東電 HD）、櫻井（原電）、田中（MHI）、小林（中部
電）、佐藤（テプシス；日高委員代理）、吉田（JAEA）

11 名出席

常時参加者：寺崎（九電） 山本（原電エンジニアリング）

傍聴者：

欠席委員：糸井（東大）

配付資料：

RK4SC39-1：第 38 回 PRA 品質確保分科会議事録案

RK4SC39-2：人事について

RK4SC39-3：「共通要求事項に関する学会標準」へのエラー対応の取り込み【提案】（そ
の 2）

RK4SC39-4：「共通要求事項に関する学会標準」の上位委員会への報告について

RK4SC39-5-1 “原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合
的意思決定に関する実施基準：2019” 英訳版の作成について（リスク専
門部会中間報告）

RK4SC39-5-2 IRIDM 標準英訳版 作業ワークシート

RK4SC39-5-3 IRIDM 標準英訳版 共有すべき用語・表現

RK4SC39-参考 1：分科会名簿

議事：

1. 定足数の確認

委員 12 名中 11 名が出席しており、本会議が議決に必要な定足数を満足していることが
確認された。

2. 前回議事録の確認（RK4SC39-1）

RK4SC39-1 に基づき、第 38 回分科会の議事録を確認し、正式版とすることが了承され
た。

3. 人事について

RK4SC39-2 に基づき、人事案件の審議を行った。

玉木委員と藤崎委員の退任が報告され、新たに小林委員候補と竹次委員候補の選任に
ついて投票を経て了承された。また、竹次氏は委員選任に伴い、常時参加者登録が解除
となることが報告された。

4. 「共通要求事項に関する学会標準」へのエラー対応の取り込みに係る提案について

RK4SC39-3 に基づき、佐藤委員から米国調査結果を踏まえた標準修正案について報告
があった。6.2 項のエラーの定義の注記について議論し、エラーとは入力ミスであることを
明確にした方がよいという意見を踏まえ、本文の入力に関する記載を踏まえた文章に
修正することとなった。また、重要な事故シーケンスの定義については、上位標準の記

載を引用することとした。

5. 「共通要求事項に関する学会標準」の上位委員会への報告について（RK4SC39-4）

RK4SC39-4 に基づき、竹次幹事より標準委員会からのコメント（上位標準の作成及び階層化）の対応状況について確認があり、桐本主査より、階層化については標準の中で性能要求と仕様規定やサポート要求をしっかりと書くことで対応はできているという説明があった。エラーの定義に関する記載も含めた標準案を次々回（12 月以降）のリスク専門部会で報告することとなり、標準案の提示後 2 週間を目途に各位委員にてレビューを行うこととなった。また、上位標準作成の進め方についても今後のリスク専門部会で確認することとなった。

6. 原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019 英訳版の作成について

RK4SC39-5-1～5-3 に基づき、倉本委員から「原子力発電所の継続的な安全性向上のためのリスク情報を活用した統合的意思決定に関する実施基準：2019」英訳版の作成についての検討状況と今後のスケジュールについて報告があった。現在第 2 次案の作成まで完了しており、次回リスク専門部会までにクロスチェック等を実施し最終案を完成させ、最終チェックの依頼を行う予定。

7 次回分科会日程

次回分科会は、1 月 25 日 PM に開催することとした。

以 上